



佐賀県立鳥栖商業高等学校

佐賀県立鳥栖商業高等学校は、1971年に佐賀県立鳥栖高等学校から分離独立した商業の専門高校で、商業科、流通経済科、情報管理科が設けられています。

学校周辺は閑静な住宅地ですが、近くに九州新幹線との乗換え駅である新鳥栖駅が開業したことをきっかけに商業施設も増え、活気が出てきています。

本校は、2014～2015年度に佐賀県金融広報委員会から「金融教育研究校」の委嘱を受け、流通・販売のスペシャリストを目指す流通経済科を中心に金融教育の研究、実践に取り組みました。

まず、1年次、2年次の生徒は、それぞれ「現代社会」、「経済活動と法」の授業で、デジタル教材などを活用しながら、消費者問題、ローンやクレジットなどについて学習し、これを公開授業として発表しました。

また、3年次の生徒は、「課題研究」の授業でライフプランニングに取り組みました。全国銀行協会による「生活設計・マネープランゲーム」を使った出前授業を受けた後、金融商品に関する知識を取り入れながら、約半年かけて具体的な生活設計を立てました。そして、この成果を全校の研究発表会で発表しました。

本校では、約6割の生徒が卒業後すぐに就職します。こうした卒業生たちが社会の荒波をしっかりと乗り越えていけるよう、今後の長い人生の中で欠かすことのできない金融に関する知識・判断力を高校段階でしっかり学ばせることは、非常に重要であると考えています。



金融教育公開授業 in 佐賀



佐賀県立鳥栖商業高等学校



全国銀行協会による出前授業